



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和4年 冬季休業号

ヨハネスブルグ日本人学校

間もなく、2学期が始まります!

1学期は、コロナ対策を取りながら、ほぼ予定した学校行事も無事に終わることができました。早くも、あと数日で2学期が始まります。長期休業中には、生活のリズムや学習の準備を整えるため、特別な過ごし方をするのではなく、普段の生活と同じ過ごし方を心掛けるよう生活指導担当からも伝えていたところです。

8月18日木曜日の始業式には、皆が元気な笑顔で会えることを期待しています。1学期は残念ながら直接会うことができなかった福田教諭との対面式も行います。

どうぞ、2学期も宜しく願いいたします。

さて、時間が逆戻りしてしまいますが、終業式の講話として、子どもたちに以下の話をしました。

新たな経験を増やし、南アで学び暮らすからこそ気が付いてほしい、実感してほしいという思いから話した内容ですが、改めて、保護者の皆様にもご一読いただければと思います。

後段の昔話もこの論旨にふさわしいかは自信がありませんが、私の好きな昔話としてご紹介させていただきます。

終業式 校長講話 ひび割れ壺（ひびわれつぼ）の話

今日から、いよいよ明日から26日間の冬休みとなります。

お休みになると規則正しい生活が難しくなることがあります。ぜひ、担任の先生、生活指導の先生のお話、さらに「早寝、早起き、朝ごはん」を頑張って、冬休みの課題にも取り組んでください。

今日は、終業式にあたって、この話をしたいと思います。

その人らしさ

私たち一人一人得意なこと、苦手なことは誰でもあります。そして学校では、みなさん、先生方が学習や生活を通して、お互いの良いところや頑張りを認め合い、励まし合いながら一日一日を過ごしています。私たちの目のまえにいる大人も同じです。

この国らしさ

私たちは、今 南アフリカという国に住んでいます。日本から見れば、外国に住んでいるわけですが、この国には素晴らしいものがたくさんあります。日本とは違うよさやすばらしさは何でしょうか。

また、皆さんも既に知っている通り、かつてアパルトヘイトという政策が行われていたことから、人のもつ権利について、私たちに学ば学ぶほどいろいろなことを考えさせ教えてくれています。この国で学ぶことで、とても将来に生きる貴重な経験を積んでいるわけです。

自分らしさ

皆さんは、自分の良いところはどこだと思っていますか。結構自分が判断していることと周りの人が認めてくれることはちがうことが多いと私は思っています。また、誰一人、完全に完璧な人はいません。人それぞれがちがっていて、お互いを認め合って生活しています。

高学年や中学部のみなさんには、この言葉を紹介します。それは、「多様性」という言葉です。様々なジャンルで今では何度も聞く言葉となりましたが、「一つではない多くの色々なものがあること、変化に富んでいること」といった意味になります。例えば「多様性を認める」と言えば、色々な人がいる、色々な物ごとがある、といったように自分とは違うもの、考えがあっても当然であるというように価値観を受け入れることです。

今日は、少し長いのですが、「ひび割れ壺（ひびわれつぼ）」というお話を読みます。

「ひび割れ壺」の話

インドのある水汲み職人は、二つの壺を持っていました。

天秤棒の端にそれぞれの壺をさげ、首の後ろで天秤棒を左右にかけて、彼は水を運びます。その壺のひとつにはひびが入っています。もうひとつの完璧な壺が小川からご主人様の家まで一滴の水もこぼさないのに、ひび割れ壺は職人が水をいっぱい入れてくれても、ご主人様の家に着く頃には半分になっているのです。

完璧な壺は、いつも自分を誇りに思っていました。

なぜなら、彼が作られたその本来の目的、水をくむことをいつも達成することができたから。ひび割れ壺は、いつも自分を恥じていました。なぜなら、彼が作られたその本来の目的を、彼は半分しか達成することができなかったから。

2年が過ぎ、すっかり惨めになっていたひび割れ壺は、ある日、川のほとりで水汲み職人に話しかけました。

(つぼ)「私は自分が恥ずかしい。そして、あなたにすまないと思っている」

(職人)「なぜ、そんなふうに思うの？」

水汲み職人はたずねました。

(職人)「何を恥じているの？」

(つぼ)「この2年間、私はこのひびのせいで、あなたのご主人様の家まで水を半分しか運べなかった。水がこぼれてしまうから、あなたがどんなに努力をしてもそれが報われることがない。私はそれがつらいんだ」と、壺は言いました。

水汲み職人は、ひび割れ壺を気の毒に思い、そして言いました。

(職人)「これからご主人様の家に帰る途中、道端に咲いている、きれいな花を見てごらん」

天秤棒にぶら下げられて、丘を登っていくとき、ひび割れ壺は、お日様に照らされ美しく咲き誇る道端の花に気づきました。花は本当に美しく、壺はちょっと元気になった気がしましたが、ご主人様の家に着く頃には、また水を半分漏らしてしまった自分を恥じて、水汲み職人に謝りました。

すると彼は言ったのです。

「道端の花に気づいたかい？花が君の側にしか咲いていないのに、気づいたかい？ぼくは君からこぼれ落ちる水に気づいて、君が通る側に花の種をまいたんだ。

そして、きみは毎日、ぼくたちが小川から帰る途中、水をまいてくれた。

この2年間、ぼくは、ご主人様の食卓に花を欠かしたことがない。君があるがままの君じゃなかったら、ご主人様は、この美しい花で家を飾ることはできなかったんだよ」

(作者不詳 菅原 裕子訳)

ひび割れ壺は、いつも道端に水をこぼし、半分の仕事しかできない自分を恥じていました。しかし、ひびのおかげで、きれいな花を育てることができました。そのひびに気づいてくれた水くみ職人。

私たちも同じです。完璧な人は一人もいなくて、私たちもこのひびのある壺のように、完ぺきではありません。

お友達と考え方ややり方の違いでぶつかることもあるかもしれません。自分の弱さやお友達のひびを言葉で責めたり、いじわるやいたずら、暴力などで痛い思いをさせたりすることがないようにしなければなりません。

お友達一人一人の個性を大きく受け止めて、水汲み職人のように、一人一人がもつ花の種をまき、花を咲かせる手助けができるようにみんなで心がけたいですね。

ここにいる一人一人がとても大切な存在であることを忘れないようにしたいものです。

では、たくさんの経験をしてきてください。8月18日、また、元気に会いましょう。



冬季休業中の工事が無事終了しました

主に3つの工事を実施

★正門青ゲートの不具合修理★



正門青ゲートの門扉が強度を増すため大変重くなっており、ガードレールのゆがみや開閉に支障が出ていました。レールは強化し戸車も新しくなり、スムーズな開閉ができるようになりました。子供たちのスクールバスの出入りはもちろん、保護者や日本人会の皆様に運動会や春祭り等に来校いただく際にもより快適になると思われます。

★校舎窓枠上部への雨よけひさし設置、校舎下の土盛りの工事★

特に夏季の大雨の際に、校舎の窓枠から雨水がしみ込んだり、排水が悪く校舎側に流れ込んだりすることがありました。今回、窓枠の上に雨よけのひさしを固定し、校庭側の校舎下もコンクリートを流して傾斜をつけてもらいました。

子どもたちの教室に雨水が入り込み、学習に影響がでたりすることがありましたが、今後は雨によって校舎の躯体が痛んだりすることも避けられると思います。

★体育館の有線LAN工事完了★

体育館のICT環境を改善するため、新たに有線LANを設置しました。学校行事や授業の際も、体育館でPC等が使いやすくなり、様々な場面で活用の工夫がされると思われます。

